

未来へアクセス



NICHIDEN

株式会社 日伝

株主の皆様へ

第64期報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

東証1部コード:9902

中期経営計画『NEXT FIELD 2017』

お取引先様にとって、
「自社の業績向上になくてはならない企業」・
日伝を目指す。
そのために、提供価値を創造する。

戦略的パートナーとなるお取引先様に、
日伝の考えを正しく伝え、
協働して市場の開拓を進める。



Q 第64期の事業環境および業績はいかがでしたか？

A 当事業年度におけるわが国の経済は自動車・工作機械など輸出産業がけん引する形で、景気の回復基調が続きました。そうした中、当社を取り巻く機械器具関連業界は「ものづくり補助金」をきっかけに中小企業の投資意欲が改善し、工作機械の受注もピークを更新するなど、概ね好調に推移しました。

今期、当社が注力したのは、販売シェアの拡大とユーザーを見据えた営業展開です。平成26年6月に東京で開催された「国際食品工業展 (FOOMA JAPAN)」ならびに「機械要素技術展」、9月に大阪で開催された「関西機械要素技術展」へ子会社の岡崎機械株式会社と協働で出展したほか、各営業所単位でメカニカルパーツ&システム展示会「地域MEKASYS展」等を開催。市場へ積極的にアピールし、新たな受注機会を得ました。

また、富山営業所と福山営業所の移転に加え、豊橋営業所の新築移転用地を取得するなど販売網の効率化を推進。さらに東大阪市にテクノセンター建設予定地を取得するなど、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

海外拠点の拡大も図り、平成26年6月、タイに2番目の拠点となる「NICHIDEN Trading (Thailand) Co., Ltd.」を開設。ベトナムでは平成27年1月から「NICHIDEN VIETNAM CO., LTD.」が営業を開始しました。

この結果、売上高は943億4千2百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益は50億6千9百万円(同17.7%増)、経常利益は52億4千1百万円(同17.9%増)となり、当期純利益は32億9千8百万円(同23.2%増)となりました。

を策定。

Q 今回、中期経営計画『NEXT FIELD 2017』を策定した背景を教えてください。

A これまでも平成5年の「21世紀ビジョン」、平成12年の「社内改革3か年計画」、平成19年の「TWO-TENプロジェクト」、平成24年の「中期ビジョン」など、外部環境の変化に対応し、中長期先を見据えたさまざまな計画を策定・実行し、一定の効果を上げてまいりました。しかし、少子高齢化に伴う国内労働力の減少や生産設備の縮小など、当社を取り巻く

環境はますます厳しくなることが予想されます。

このような状況の中で創業80周年を迎えた当社は、今後の経営戦略次第で企業間の優劣が明確になると覚悟し、過去の反省を活かした中期経営計画『NEXT FIELD 2017』を策定しました。従来の計画と大きく異なるのは、各部門が3年後に『成し遂げる姿』を明確に掲げ、内外にコミットメントする形を採用したことです。これからの3年間は、『NEXT FIELD 2017』を“有言実行”できる社内風土を築き上げてまいります。

中期経営計画の骨子

- | | | | |
|-----------------|---|-----------------|--|
| <p>1</p> | <p>一体感のある企業グループの構築
ガバナンスの取れたグループ管理体制を構築し、シナジー効果を発揮する</p> | <p>5</p> | <p>海外展開の加速
海外の国柄・地域に応じた商売の発展形を作り上げ、同時多面的にビジネスを展開する</p> |
| <p>2</p> | <p>新たな商社機能の発揮と活用
横系（全国規模の組織力）と縦系（地域密着の細やかな対応力）の両方をしっかり紡ぐ</p> | <p>6</p> | <p>「流通のハブ」としての存在感向上
在庫機能と物流機能を活かし、その運用にて利益を生み出す</p> |
| <p>3</p> | <p>「商売の芽」となる情報獲得機会の増大
MEKASYS展示会、出前展、セミナーなどユーザーとの多様な接点を構築する</p> | <p>7</p> | <p>情報投資による業務効率の改善
一人ひとりが業務の中で効率を上げ時間を創出し、「商売を創る活動」をさらに強化する</p> |
| <p>4</p> | <p>新たな事業を創出する機動的な投資
強固な財務基盤をベースに新たな収益源を創出する</p> | <p>8</p> | <p>商売を創れる人財の育成
競争力の源泉である「人材づくり」において、圧倒的な優位性を持つことに挑戦する</p> |

TOP INTERVIEW

トップインタビュー

Q 『NEXT FIELD 2017』で取り組むテーマは何ですか？

A 『NEXT FIELD 2017』の根幹をなす基本方針の一つが、「お取引先様にとって『自社の業績向上になくてはならない企業』・日伝を目指し、『提供価値』を創造する」ことです。「お取引先様の業績向上に無くてはならない企業」として当社の存在価値を認めていただけるよう、誠実に取り組んでまいります。

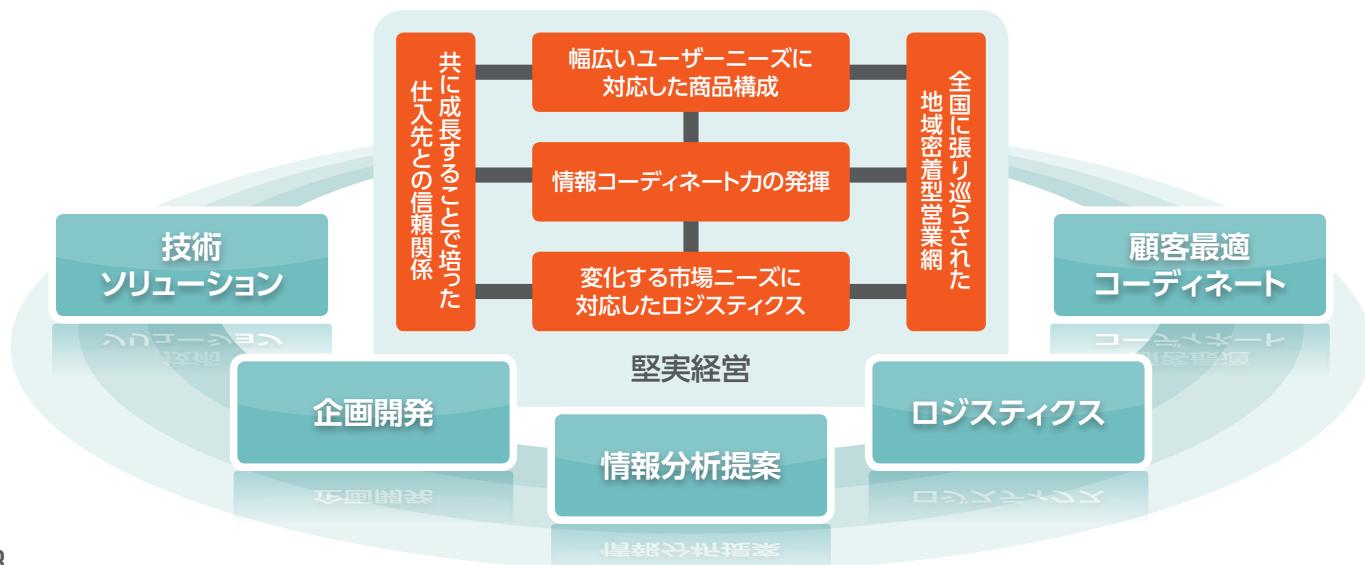
もう一つは「戦略的パートナーとなるお取引先様（仕入先様と販売先様）に、日伝の考えを正しく伝え、理解していただいた上で協働して市場の開拓を進める」ことです。当社ならではの“機能”と“強み”をご理解いただける仕組みを構築して、より効率的な働きかけを強化することで、お取引先様が標榜される戦略の具現化に役立つ企業となれるよう、積極的に取り組んでまいります。

Q 『NEXT FIELD 2017』において拡大を目指す事業領域を教えてください。

A これまで取り組んできた「従来型標準品ビジネス領域」は、価格以外の差別化がしにくい上に、ネット商社の参入もあって、この領域だけでは事業拡大は難しいと思われます。そのため、標準品に加工やアッセンブリーを施して価値を高める「価値付加型ビジネス領域」へ進出。さらに、営業技術支援を行うFAシステム・環境推進部による技術ソリューション、システム提案を推進し、営業技術要素を高めながらトータルソリューションを展開する「課題解決提案型ビジネス領域」の拡大を図ります。

このような取り組みにより、計画の最終年度である第67期（平成30年3月期）には連結売上高1,180億円、営業利益61億円の達成を目指します。

新たな商社機能の発揮と活用



Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 第65期は中計経営計画『NEXT FIELD 2017』の初年度となることから、1年目の目標である連結売上高1,035億円、営業利益54億円を達成し、順調なスタートが切れるよう、全社一丸となって課題に取り組む所存です。

なお、『NEXT FIELD 2017』期間中の株主様への還元につきましては、企業価値と株主価値の持続的かつ一体的な向上を基本とした安定的な配当を行ってまいります。

当社を新たな成長のステージへ導く『NEXT FIELD 2017』の実現・推進は、株主の皆様のご理解とご支援なしに達成することはできません。従前以上のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

戦略的パートナーとなるお客様へ日伝の考えを正しく伝え、協働して市場開拓を進めます。

代表取締役社長

福家利一

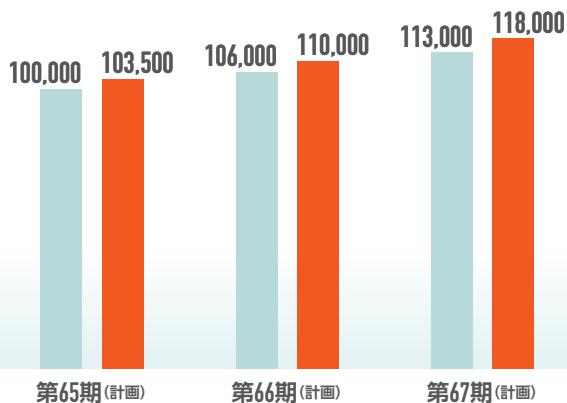


『NEXT FIELD 2017』数値目標

売上高

(単位:百万円)

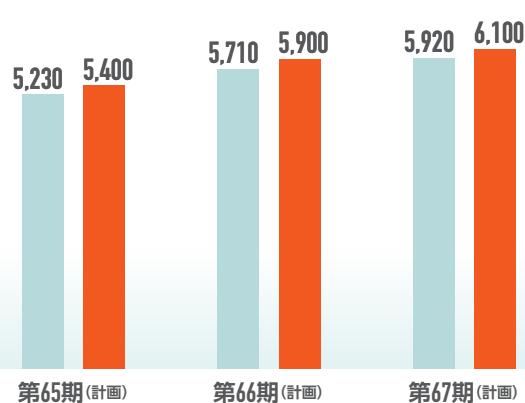
■単体 ■連結



営業利益

(単位:百万円)

■単体 ■連結



FINANCIAL HIGHLIGHTS

業績ハイライト

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円未満は切捨て)

科目	第64期	第63期
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産 POINT 1	59,199	54,799
固定資産	19,009	18,089
資産合計	78,209	72,888
負債の部		
流動負債	13,233	11,398
固定負債	3,486	3,452
負債合計	16,720	14,850
純資産の部		
株主資本	58,938	56,359
評価・換算差額等	2,550	1,678
純資産合計	61,489	58,038
負債純資産合計	78,209	72,888

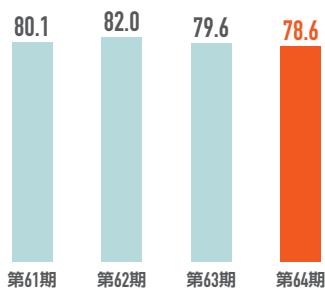
損益計算書(要旨)

(単位:百万円未満は切捨て)

科目	第64期	第63期
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
売上高	94,342	87,917
売上原価	80,703	75,238
売上総利益	13,639	12,678
販売費及び一般管理費	8,570	8,373
営業利益	5,069	4,304
営業外収益	519	476
営業外費用	347	335
経常利益	5,241	4,445
特別利益 POINT 2	296	28
特別損失 POINT 2	216	3
税引前当期純利益	5,320	4,470
法人税、住民税及び事業税	1,853	1,810
法人税等調整額	169	△16
当期純利益	3,298	2,677

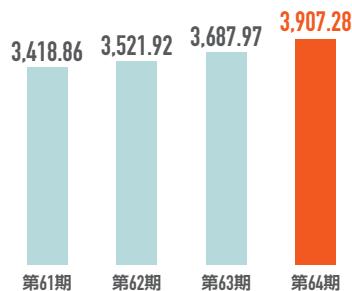
自己資本比率

(単位:%)



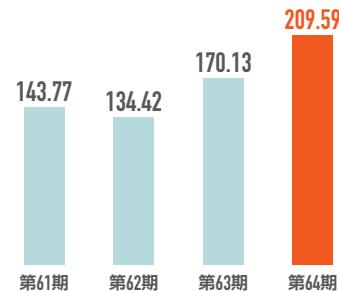
1株当たり純資産額

(単位:円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円未満は切捨て)

科目	第64期	第63期
	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,339	941
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,016	284
財務活動による キャッシュ・フロー	△832	△748
現金及び現金同等物に 係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の 増加額又は減少額(△)	489	478
現金及び現金同等物の 期首残高	25,958	25,480
現金及び現金同等物の 期末残高	26,448	25,958

POINT 1 流動資産

流動資産は、前事業年度末に比べ、43億9千9百万円増加し、591億9千9百万円となりました。これは、現金及び預金が15億1千万円増加、売上高の増加により電子記録債権が9億3千5百万円増加、売掛金が15億4千6百万円増加したこと等によるものであります。

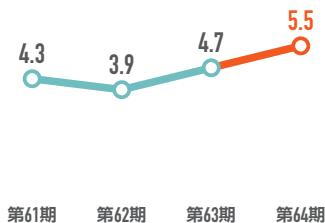
POINT 2 特別損益

特別利益として、建物及び土地(東京都北区、東大阪市)の売却による固定資産の売却益2億9千3百万円を計上しております。また、特別損失として、愛知県小牧市に保有する建物及び土地について減損損失2億1千6百万円を計上しております。

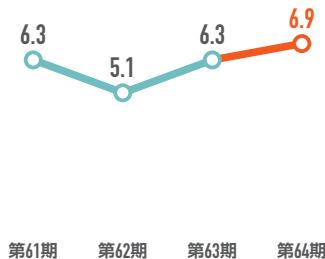
POINT 3 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、10億1千6百万円(前年同期において得られた資金2億8千4百万円)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が9億5百万円、有形固定資産の売却による収入が5億2千3百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が6億4千7百万円あったものの、定期預金の預入による支出が10億2千4百万円、有形固定資産の取得による支出が18億9千3百万円あったこと等によるものであります。

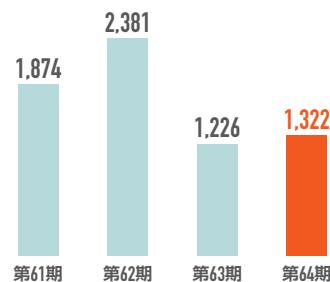
自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)



総資産経常利益率(ROA) (単位:%)



フリーキャッシュ・フロー (単位:百万円)



SEGMENT INFORMATION

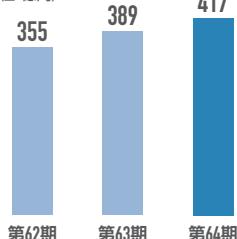
事業分野別状況

動力伝導機器分野

動力伝導機器分野では、減速機、伝導関連用品、直動機器等が堅調に推移した結果、売上高417億3千3百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

商品別売上高の推移

(単位:億円)



主要な取扱商品

- ▶ 減速機 ▶ 変速機 ▶ 伝導用品
- ▶ 軸受 ▶ 工業用材料
- ▶ 減速機/変速機
- ▶ チェーン伝導用品/ベルト伝導用品/歯車伝導用品/カップリング/その他伝導関連商品
- ▶ ベアリング/直動機器/ベアリングユニット/その他軸受関連商品
- ▶ 金属材料/合成材料/セラミック/新素材

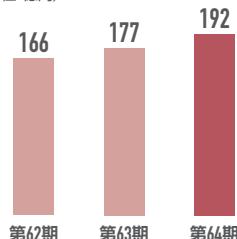


産業機器分野

産業機器分野では、各種搬送機器、昇降揚重機、環境機器・ファン等が堅調に推移した結果、売上高192億9千5百万円(前年同期比8.8%増)となりました。

商品別売上高の推移

(単位:億円)



主要な取扱商品

- ▶ 荷役運搬機器 ▶ モータ ▶ 環境機器
- ▶ FAシステム ▶ 包装・梱包システム
- ▶ コンベヤ/運搬機器/振動機/昇降揚重機/保管関連機器/搬送システム/構造用システム機器/包装・梱包システム機器/その他荷役・運搬・搬送関連商品
- ▶ モータ/環境機器/ファン/集塵・洗浄機器/ポンプ/その他機械器具・工具関連商品

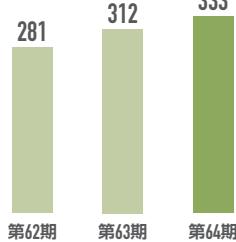


制御機器分野

制御機器分野では、油圧・空圧機器、アクチュエータが堅調に推移した結果、売上高333億1千4百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

商品別売上高の推移

(単位:億円)



主要な取扱商品

● 油圧機器 ● 空圧機器 ● 電気 ● 電子

- ▶ 油圧機器／空圧機器／真空機器／ホース／チューブ／継手
- ▶ シーケンサ／表示器／アクチュエータ／センサ／スイッチ／エンコーダ／画像処理／測定機器／計測機器／盤用機器／ロボット／ナットランナ／メカトロパーツ／配管機材／通信・ネットワーク機器／無停電電源装置／その他制御機器関連商品



制御機器分野

35.3%

動力伝導機器分野

44.2%

事業分野別
売上高構成比

産業機器分野

20.5%

POINT 『NEXT FIELD 2017』

新たな事業を創出する機動的な投資

加工・アセンブリー機能の向上・拡大を目的に価値付加型ビジネス領域への展開のため、東大阪市に建設中のテクノセンターが秋には完成し、11月に稼働する予定です。



テクノセンター

住 所 大阪府東大阪市吉田本町一丁目
敷地面積 1,873.08㎡ 延床面積 2,146.97㎡
構造・規模 鉄骨造・2階建 完成予定 平成27年9月
(11月稼働予定)

国内外の拠点を繋いで、 ものづくり支援のネットワークを 構築しています



<http://www.nichiden.com/company/network/>

国内外の拠点情報は当社ホームページにてご覧頂けます。

POINT 『NEXT FIELD 2017』

海外展開の加速

現在5つある中国の営業拠点。
中国におけるビジネス拡大に対応するため、今後4つの拠点を開設する予定です。

- 既存営業拠点
- 開設予定営業拠点

天津 2010年開設

大連 予定

常熟 予定

蘇州 2011年開設

上海 2003年開設

平湖 2012年開設

杭州 2013年開設

深圳 予定

東莞 予定

中国

西部ブロック

大阪支店

八日市営業所	東大阪営業所	福山営業所
滋賀営業所	北大阪営業所	広島営業所
京都営業所	堺営業所	四国営業所
	神戸営業所	九州支店
	姫路営業所	北九州営業所
	岡山営業所	熊本営業所

物流センター

東部物流センター	西部物流センター
中部物流センター	

東部ブロック

東京支店

札幌営業所	水戸営業所	千葉営業所
北上営業所	小山営業所	横浜営業所
仙台営業所	高崎営業所	南関東営業所
郡山営業所	埼玉営業所	西東京営業所
新潟営業所	上田営業所	

中部ブロック

名古屋支店

富山営業所	静岡営業所	岡崎営業所
北陸営業所	浜松営業所	小牧営業所
松本営業所	豊橋営業所	鈴鹿営業所

POINT

『NEXT FIELD 2017』

「流通のハブ」としての存在感向上

東部地区を中心とするデリバリー機能の強化を図るため、新しい東部物流センターを埼玉県久喜市に建設を進めております。8月に現在のさいたま市岩槻区から移転し、稼働する予定です。

東部物流センター

住 所	埼玉県久喜市菖蒲町三箇字新堀向5番5		
敷地面積	10,000.08㎡	延床面積	18,059.11㎡
構造・規模	鉄骨造・5階建	完成予定	平成27年8月



平成26年

10月

1

11月

2

12月

平成27年

1月

3

2月

4

3月



11月13日 展示会 (MEKASYS in OSAKA)

『生産性の向上と省力化への貢献~カイゼンへの一歩はMEKASYSから~』をテーマに平成26年11月13日(木)に花博記念公園 鶴見緑地 水の館ホール(大阪市鶴見区)においてメカニカルパーツ&システム総合展を開催いたしました。

2 12月4日 展示会 (MEKASYS in NAGOYA)

『生産性の向上と省力化への貢献~現場のイノベーションを応援します~』をテーマに平成26年12月4日(木)に名古屋国際会議場 イベントホール(名古屋市中熱田区)においてメカニカルパーツ&システム総合展を開催いたしました。



POINT 『NEXT FIELD 2017』

「商売の芽」となる情報獲得機会の増大
平成27年度展示会の出展

国際食品工業展	6月 9日(火)~12日(金)
機械要素技術展	6月24日(水)~26日(金)
関西機械要素技術展	10月 7日(水)~ 9日(金)
初出展 国際ロボット展	12月 2日(水)~ 5日(土)

5

4月

6

5月

7

8

6月

7月

8月

9月

3

2月2日

平成27年3月期第3四半期決算発表

4

2月26日

 平成27年3月期第3四半期
 決算説明スモールミーティング
 場所:JAビル304号室

5



4月11日

社会貢献活動～にちでんの森活動～

第8回「にちでんの森 ～ACCESS to ECO」(フォレストマッチング～協働の森づくり推進事業～)を創業者(西木利吉)の故郷の近くでもある香川県木田郡三木町の森林において植林による森づくり活動を平成27年4月11日(土)に平成27年度新入社員を含む約80余名の参加により実施いたしました。

6

5月11日

 平成27年3月期決算発表
 中期経営計画『NEXT FIELD 2017』発表

7

5月26日

 平成27年3月期決算説明会
 場所:大手町ファーストスクエアカンファレンスRoom D

平成27年5月26日(火)に決算説明会を大手町ファーストスクエアカンファレンス Room D(東京都千代田区)で開催いたしました。当社代表取締役社長 福家 利一より第64期決算概要と中期経営計画『NEXT FIELD 2017』についてご説明いたしました。



8

6月19日

第64期定時株主総会開催

CORPORATE INFORMATION / STOCK INFORMATION

会社情報 / 株式情報

会社の概要

(平成27年3月31日現在)

商号	株式会社 日伝
英文社名	NICHIDEN Corporation
設立	昭和27年1月26日
本社所在地	大阪市中央区上本町西一丁目2番16号
資本金	53億6千8百万円
従業員数	728名
関係会社	岡崎機械株式会社 日伝国際貿易(上海)有限公司 NICHIDEN (Thailand) Co.,Ltd. NICHIDEN Trading (Thailand) Co.,Ltd. NICHIDEN VIETNAM CO.,LTD. 株式会社プロキュバイネット

役員

(平成27年6月19日現在)

代表取締役会長	西木 利彦	
代表取締役社長	福家 利一	営業本部長
常務取締役	酒井 義之	東部ブロック長
常務取締役	榊原 恭平	MEシステム統括部長
常務取締役	岡本 賢一	中部ブロック長
取締役	寒川 睦志	西部ブロック長
取締役	檜垣 泰雄	管理本部長兼総務部長
取締役	小山 章松	
常勤監査役	河村 竹佳	
常勤監査役	石谷 勇児	
監査役	古田 清和	
監査役	川上 勝	

(注) 取締役のうち、小山章松氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
監査役のうち、古田清和、川上勝の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
なお、当社は小山章松、古田清和の両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況

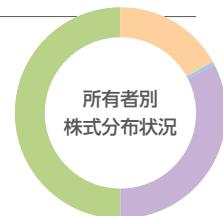
(平成27年3月31日現在)

発行可能株式の総数	63,000,000株	
発行済株式の総数	15,737,056株 (自己株式205,944株を除く。)	
株主数	2,892名	
大株主(上位10名)	持株数(千株)	持株比率(%)
日伝共栄会	1,699	10.79
日伝仕入先持株会	903	5.74
西木 進	735	4.67
株式会社利双企画	700	4.44
株式会社みずほ銀行	550	3.49
有限会社ニシキ興産	523	3.32
日伝従業員持株会	501	3.18
株式会社百十四銀行	491	3.12
西木 利彦	417	2.65
西木 利博	343	2.18

(注) 持株比率は自己株式(205,944株)を除いて計算しております。

株式分布状況

金融機関	28名	2,728,300株	17.11%
証券会社	23名	85,898株	0.54%
法人	330名	5,159,529株	32.36%
個人その他	2,511名	7,969,273株	49.99%



1千株未満	2,099名	374,062株	2.34%
1千株以上	640名	1,667,034株	10.46%
1万株以上	126名	3,641,116株	22.84%
10万株以上	20名	4,646,844株	29.15%
50万株以上	7名	5,613,944株	35.21%

株 式 情 報

配当方針

当社の配当方針は、平成16年5月の取締役会で「配当性向20%以上、1株あたり20円を下限とする。」と定めております。

配当金のご案内

当事業年度の期末配当金につきましては、前事業年度配当45円に増配5円を加え普通配当50円に、創業80周年記念配当5円を加え、1株につき55円(年間)にて実施いたしました。翌事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当50円を予定しております。

株主優待制度のお知らせ

日頃のご愛顧にお応えするため、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のご住所へ次のおりご優待品を12月中にお届けさせていただきます。



1,000株以上所有(一律)

こだわり厳選セット
無洗米2kg詰め3パック
幸南食糧株式会社
<http://www.kohnan.co.jp/>

**100株以上
1,000株未満所有(一律)**

讃州育ち本切りセット
さめきうどん300g×3袋(9人前)
株式会社めりけんや
<http://www.merikenya.com/>



株価および株式売買高の推移

(株価:円)



(注) 株価および株式売買の推移は、東京証券取引所におけるものです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日までの1年
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告をすることができ ない場合は、日本経済新聞に掲載する方 法といたします。
証券コード	9902
株主優待制度	毎年9月30日現在の株主名簿に記載ま たは記録された所有株式数100株以上 の株主様に対して当社指定粗品を贈呈 いたします。

郵送物送付先

お問い合わせ先

各種手続お取扱店
(住所変更、株主配当金
受取り方法の変更等)

未払配当金のお支払

ご注意

証券会社等に 口座をお持ちの場合

お取引の証券会社
等になります。

証券会社等に 口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)

〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル
0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00~17:00)

みずほ証券
本店、全国各支店および営業所
プラネットプース(みずほ銀行内の店
舗)でもお取扱いたします。

みずほ信託銀行
本店および全国各支店
*トラストラウンジではお取扱できま
せんのでご了承ください。

みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および
全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)

支払明細発行については、右の
「特別口座の場合」の郵便物送
付先・お問い合わせ先・各種手
続お取扱店をご利用ください。

特別口座では、単元未満株式の買取
以外の株式売買はできません。証券
会社等に口座を開設し、株式の振替手
続を行っていただく必要があります。

上場株式配当金の 支払いに関する 通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を通知することとなっております。つきましては、「支払通知書」の法定要件を満たした「配当金計算書」を同封しておりますので、確定申告の添付資料としてご使用ください。なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける「支払通知書」につきましては、お取引の証券会社等へお問い合わせください。



IRに関するお問い合わせ先

当社ホームページIR関連のお問い合わせフォームより承っております。資料請求、ご質問、ご意見、ご要望などがございましたら、気軽にお問い合わせください。

<http://www.nichiden.com/inquiry/>

メカニカルパーツ&システム

MEKASYS
<http://www.mekasys.jp>

「MEKASYS」は、株式会社日伝の
登録商標第5354848号です。



この冊子は環境保全の
ため、植物油インキを
使用しています。